

## 別紙

コース	概要	前提履修科目等	備考
社会経済学	現実の経済を歴史・理論・制度・思想も踏まえて多角的に理解する方法を学ぶ。	専門科目1:24単位以上、専門科目2:12単位以上	※ガイダンスを4月6日(水)12時45分より4番教室にて行う。
統計	確率・統計の理論と実証に関して、より専門性の高い内容を学習する。	数理統計(優)、計量経済学(優)、専門科目1:統計、ミクロ経済学、マクロ経済学	※ガイダンスを4月5日(火)12:10-12:30 久保川研究室(1205)にて行う。
ミクロ・マクロ	経済理論(ミクロ経済学・マクロ経済学)および数量分析(統計学・計量経済学)の学習をコアに据えて、その実証的応用として現代経済社会の諸問題の分析・研究や、その理論的発展として更なる経済理論の研究へと進んでいきます。	とくになし	※ガイダンスを4月6日(水)全体のガイダンス終了後に引き続き2番教室で行う。
経済史	経済史に関する先端的知見と、歴史研究を通じて経済をより深く理解する方法を学び、そのことを通じて経済に対する広い視野と確固として視点を持った人材を育成する。	専門科目1:24単位、ただし経済史IとIIは優、および経済原論、ミクロ経済学、マクロ経済学、統計のうち2科目で優	※ガイダンスを4月6日(水)全体のガイダンス終了後に引き続き2番教室で行う。
経営	現場から本質を掴み出し、論理的に説明し、問題解決に結びつける高度な専門能力を持った「フィールド・ベース・プロフェSSIONAL」を育成する。	(専門科目1)経営、会計、(専門科目3)経営管理、経営戦略、マーケティング、経営史、国際経営、技術経営、財務会計、管理会計の10科目のうち、4科目取得済み、およびこれら10科目のうち、成績上位4科目平均が「良」以上、ないし「優」が2つ以上	※ガイダンスを4月6日(水)13時より経営教育研究センター(小島ホール5F)にて行うので必ず参加すること。
数量ファイナンス	特に数理的能力が優れた学生向けに、金融業界でグローバルに活躍できる人材を養成する。	数理統計学、計量経済学、数学I、数学IIなどの数理的科目を3科目以上履修し、特に優れた成績を修めていること。また、最低60単位取得済みであること。	※ガイダンスは実施しない。